

令和 3 年度 墨田区立立花吾孺の森小学校 経営報告書

令和 4 年 3 月 17 日

学 校 目 標	身体も心も健康で、思いやりの心もち、よく考え学ぶ子供
目 指 す 学 校 像	・子供たちの笑顔のために、教職員が互いに磨き合い、チームとして進んでいく学校
目 指 す 子 供 像	・夢の実現のために目を輝かせて、進んで取り組むことのできる児童
目 指 す 教 師 像	・児童の夢の実現のために学び合い、努力を続ける教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各 教 科 等 指 導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	○毎時間の指導のねらいを明確にし、45 分の中に振り返る場面、考える場面を必ず入れた授業計画を立てて指導を進める。 ○タブレット端末の効果的な活用方法を校内で共有し、各教科の指導に積極的に生かす。 ○タブレット端末や、その他の教材を生かし、全員が確実に取り組むことのできる家庭学習を行うようにする。 ○年間で 35 回の補習の時間を設け、日常の指導の中で振り返り学習を進んで行き基礎・基本の確実な定着を図る。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	○特別支援校内委員会による個別指導計画の作成を行い、全教職員で共有し、各自に対して一性をもった指導を進める。 ○不登校児童に対して、タブレット端末などを効果的に活用し、つながりを切らないようにする。 ○全員面接を 456 年に行い、諸問題に対する研修会も日常的に行い、専門的な知識に基づく指導が行えるようにする。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	A	○全学年で年間複数回ゲストティチャーを招く授業を実施し、人の生き方に触れるような授業を進める。 ○タブレット端末を活用し、それぞれの児童の悩みなどを確実に知ることができるようにする。 ○縦割り活動は、コロナ禍の中で方法を工夫しながら日常の学校生活の中で進める	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	○経営案を全学級担任、専科教員が作成し、研修会を前期、後期に一回ずつ行い、互いに成果を確認し、学び合う。 ○若手研修会を、夕方の 15 分間の中で継続的に放課後に行う。 ○校内研において 4 つの分科会で一回ずつ、授業力向上のための検証授業を行い、児童の成長を見取る。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりや、PTA 唐の報告をもらい、学校の状況を知ることができた。</li> <li>・不登校児童のための居場所作りでも努力をし、登校できる児童が増えたことは評価したい。</li> <li>・今年度も授業を見学できなかったが、同封の資料により、タブレット端末を活用していることがよく分かった。</li> <li>・教職員の方々の児童に対する取組に感謝します。</li> <li>・教師の指導力には差があるので、各自研鑽を積んで欲しい。</li> <li>・コロナ禍でも、最大限の工夫を行い、各教科指導を行っていると思う。</li> </ul>		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	○生活指導連絡会を毎週確実に行う。学校だけではなく、地域、教育委員会とも連携をとり、児童の問題について、組織的に対応する。また、保護者に寄り添った形で問題に共に取り組むようにする。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	○自尊感情、有用感を高められるように児童相互に認め合うことができる場面を、学年、学級、時に全校活動の中で日常的に設けるようにする。 ○児童の困り感、抱える問題に気づくことができるように教員から児童に言葉かけをするように努める。	A	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	○月に一回の校内点検だけではなく、日常的に児童の目線で校舎内外を見、問題点に迅速に対応する。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	○全校児童に対しての各種アンケートを随時行い、児童の抱える問題を早期に見いだすことができるようにする。 ○助け合いの心、ボランティア精神を高めるために、たてわり活動を行っていく。 ○COCOO やロイロノートを活用し、保護者からの声も、適切なタイミングで確実に得られるようにする。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年をこえた児童の関係づくりに感心をしている。</li> <li>・様々な制限の中での先生たちの工夫が感じられた。</li> <li>・新しい情報機器の利用についてもっと知りたい。</li> <li>・一人一人の児童に向き合い、学校全体で対応していることがよく分かった。</li> </ul>		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	○経営方針を具体的に示し、それをもとに全員の自己申告面談を行い、学級専科経営案を作成する。内容を校内で共有し、定期的にふり返りを行う。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	○年に 3 回の学校運営連絡協議会を行い、地域の声を聞きながら、改善点があれば年度途中であっても良い方向に軌道修正をする。 ○学校の状況をお便り、ホームページ等で発信し、家庭からの評価も適切に行えるようにする。	B	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	○時代の変化、地域からの要請等にアンテナを張り、よりよい教育活動を進めることができるようにする。教育委員会、近隣幼保小中学校との連携も取り、参考にしながらより適切な教育活動を進められるようにする。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童クラブとの連携をもう少し密にして欲しい。(年度初めの在籍児童の情報共有、下校時刻等の確認など)</li> <li>・服務事故防止のために、さらに管理体制を整えて欲しい。</li> <li>・お便りやホームページでの発信がタイムリーであった。しかし、教職員との交流に制限があり、現状を把握しにくかった。</li> </ul>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	○ホームページを毎日更新し、一ヶ月あたりの閲覧数も 5000 回を超えるようにする。また、学年、学校からの配布物も、読み手が納得できるような内容になるように工夫する。	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	○開校 15 周年の各種プログラムを、地域愛を育てることを共通のめあてとして各学年、地域の方をゲストティチャーとして招くことや、地域に教材を見つけることを積極的に行う。	B	A

様式 4

域 連 携				
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供一人一人の状況が分かるような工夫が欲しい。</li> <li>・現在の状況下では、学校だよりが唯一の情報源となっている。</li> <li>・毎日のホームページの更新は大変ですが、子供たちの様子を知ることができて、コロナ禍では大切だと思う。</li> <li>・地域に積極的に関わる教育をしていたと思う。</li> <li>・コロナ禍で、地域との連携は希薄になっている。</li> </ul> <p>は楽しく見せてもらっている。しかし、各学年のページを設けたり、学習の方法を示したり、もっと工夫を加える必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防がなければ、もっと多くの者が、学校に協力しようと考えている。積極的に声をかけてほしい。</li> </ul>		

2 令和3年度学校評価のまとめ

<p>①学力向上については今年度行った努力を継続し、個の力を伸ばすようにする。</p> <p>②児童の個々の課題に関して地域と連携し、学習や基本的な生活習慣を確立する努力を続ける。そのための情報交換の場を増やす。特に開校 15 周年を契機に、地域を学ぶ場を意図的に増やす。</p> <p>③子供らしい考えをもつ児童の良さを生かし、タブレット端末などの ICT 機器を活用し、自信をもって自分の意見や考えを交流させる活動を活発にする。</p> <p>④どのような状況にある者も個に応じた適切な指導が受けられるようにする。</p> <p>⑤事故やいじめなど未然に防ぐ研修会や意識を高める取り組みを行い、教員の資質向上に努める。</p>
---

以上の通り報告いたします。

墨田区立 立花吾嬬の森小学校 校長 向井 一郎 公印